

第237回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和4年12月23日（金）13：30～14：20

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) （個人情報を含む審議事項であるため非公開）

(2) 内閣府「研究力の分析に資するデータ標準化の推進に関するガイドライン」に基づくデータ提供について

理事（総務担当）から、資料2に基づき、内閣府におけるEBPM（Evidence-based Policy Making）への取組に関し、政府内の科学技術関係予算配分の見える化を図る目的でエビデンスシステムが構築され、運用されていることに伴い、本学の研究活動に関わる各種データを内閣府へ提供することについて説明があり、審議の結果、了承された。

4 報告事項

(1) 長崎大学将来構想WGの設置について

理事（研究・社会連携・戦略企画担当）から、資料3に基づき、長崎大学の今後を見据えた将来構想を検討するため、長崎大学将来構想WGを設置することについて報告があった。

(2) 令和5年4月1日以降の部局長の指名等について

議長から、資料4に基づき、令和5年3月31日に任期満了となる部局長の後任について、学長指名とする部局等の報告があった。

(3) 部局別女性教授・女性教員の在職状況について

副学長（ダイバーシティ推進担当）から、資料5に基づき、前回の本会議後に一部数値を修正した令和4年10月1日現在の部局別女性教授・女性教員の在職状況について報告があった。

(4) ダイバーシティ推進学習プログラムの受講状況について

副学長（ダイバーシティ推進担当）から、資料6に基づき、ダイバーシティ推進学習プログラムの受講状況について報告があった。

(5) リカレント教育の実施状況について

副学長（入試・地域教育連携担当）から、資料7に基づき、学内の各部局等で実施しているリカレント教育の状況について報告があった後、現在リカレント教育を実施していない部局への協力依頼があった。

以上